

当院で骨塩定量検査を行った患者さんの情報を用いた医学系研究に対するご協力をお願い

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。匿名化が図られ個人は特定されず、また過去の診療記録情報の収集と解析にとどまるため、対象者には直接の不利益はありません。このような研究は、厚生労働省の「臨床研究に関する倫理指針」の規定により、対象患者さんのお一人お一人からの直接のご同意に代えて、研究内容の情報を公開することをもって実施可能とされております。

この研究に関するお問い合わせ、ならびに、この研究内容の対象となられる方で「ご自身の診療録（カルテ）は除外してほしい」と望まれる方は、下記お問い合わせ先までご連絡ください。

【研究課題名】 アルコール摂取が脆弱性骨折に与える影響について

【研究部署】 神戸朝日病院 診療放射線科 骨塩定量検査室

【研究責任者】 小林 久人（診療放射線科部長）

【研究の目的】

骨折リスク評価ツールの1つにWHOが発表したFRAXがあり、機種名とBMD・身長・年齢・体重・問診項目を入力することで10年以内の骨折リスクが主要な骨粗鬆症性骨折（Major osteoporotic：以下MO）と大腿骨近位部骨折（Hip fracture：以下HF）の2種類が算出される。しかし、FRAXの式は公式で公開されていない。当院は肝疾患専門病院であり、他院と比べアルコール疾患の患者が多い。本研究では、アルコール摂取の有無でMOやHFの変化、及び実際の脆弱性骨折との相関を調べる。

【研究方法】

対象となる患者は下記の通りです。

- ・2023年12月からDEXA法で骨塩定量検査を行った患者のうち、大腿骨近位部の骨密度を計測した患者、及び40～89歳に該当する患者を対象とし、腰椎及び股関節X線所見、骨塩定量検査により算出されたFRAXの結果を後ろ向きに検証し、アルコール摂取の有無でMOやHFの変化、及び実際の脆弱性骨折との相関を調べる。

【個人情報の取り扱い】

収集した情報は名前、住所など患者さんを直接と特定できる個人情報を除いて匿名化いたしますので、個人を特定できるような情報が外部に漏れることはありません。また、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。この研究の対象となられる方で「ご自身の診療録（カルテ）は除外してほしい」と望まれる方は下記お問合せ先までご連絡ください。

【問い合わせ先】

神戸朝日病院 診療放射線科 骨塩定量検査室

診療放射線科 千葉知寛

〒653-0801 神戸市長田区房王寺町 3-5-25

TEL:078-612-5151